

奈良県立医科大学附属病院

院長 吉川 公彦



新春を迎えお祝い申し上げます。

日頃は当院地域医療連携室を介した病病・病診連携にご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年も第4波、第5波により全国においても多数の患者さんが感染され、患者さんの治療やワクチン接種に県下医療機関一丸となり取り組んできたところですが、変異株の蔓延や第6波も懸念されており今後も余談を許さない状況にあります。

当院におきましては奈良県のコロナ重点医療機関と認定されコロナ専用病床を確保・運用をしており、病床稼働率や手術枠も県内の感染状況を鑑みながら診療に努めているところです。特定の診療科では現在においても診療制限を継続しており、初診予約や診療においてご不便をおかけしていることがあるかと存じますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

さて、当院は特定機能病院として高度先進医療の提供を行い本県の基幹病院として機能することが求められていますが、地域医療の提供も使命としており幅広く多数の患者さんを受け入れているところです。

しかしながら、当院が奈良県における最終ディフェンスラインとして機能していくためには、地域医療機関との連携協力が必要であり、症状が落ち着いた患者さんは紹介元への逆紹介を推進することにより、新たな多くの患者さんの診療に繋がり当院に課せられた使命を果たすことが出来ることとなります。

また、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを構築に向け、各医療機関が担うべき役割を果たし、医療機関の機能分化と地域完結型の県内医療の推進に努めているところです。

今後も、地域医療機関との一層の信頼関係の構築を目指し円滑な連携を推進するため、初診紹介患者の予約受付をはじめ、迅速で適切な返書管理、逆紹介の推進や連携登録医制度の充実などに取り組んで参りますので、引き続きご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

▶ トピックス **Q 特集** 慢性疼痛外来について

- 理念・方針・行動指針
- 産婦人科学講座 教授 就任挨拶
- 診療科紹介 (リウマチ外来/乳腺センター)
- 地域医療連携室からのお知らせ
- 第17回 地域医療連携懇話会のご案内



▶ 理念・方針・行動指針

理念

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

方針

1 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践

奈良県内唯一の特定機能病院として高度医療・先端医療を推進します。

また高度救命救急センターに加え、ER救急の整備等により救急医療体制を強化するとともに、奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献します。

2 奈良県内基幹病院としての機能の充実

5疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応するとともに、患者安全の取組を推進し、奈良県内基幹病院としての役割を果たしていきます。

3 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進

地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支えます。

4 各領域の担い手となる医療人の育成

附属病院における卒後教育を通じて、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムをはじめ各領域の担い手となる患者と心が通い合う医療人を育成し、地域医療の向上に貢献します。

行動指針

- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します



就任挨拶



産婦人科学講座 教授 木村 文則

2021年9月1日付で、奈良県立医科大学産婦人科学講座 教授を拝命いたしました木村文則と申します。

産婦人科の診療は、産科、婦人科腫瘍、生殖医療など診療内容はバラエティに富み、それぞれ独自の知識とスキルを必要とします。奈良県内におきましても少子高齢化は間違いなく進んでおり、今後の産婦人科の診療を考えた場合にその年齢別の疾患有病率を考え産婦人科医の在り方を考える必要があります。これらに対応できるよう大学病院としてサブスペシャリティをバランスよく診療し、教育することができるよう充実させ、「地域医療の維持、充実化」と「トップレベルの診療」を両立するよう尽力いたしたいと考えています。

また、奈良県の行政、関連病院、大学およびその関連診療科のみならずとよく相談し、大きな利益をもたらせるよう奈良県内の産婦人科診療システムを整備してまいりたいと考えております。

ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

リウマチ外来

整形外科 原 良太

奈良県立医科大学附属病院では2011年4月1日に設立されたリウマチセンターから2021年4月1日よりリウマチ外来に変更し、これまでと同様に内科と整形外科が協力してリウマチ診療にあたっております。

診療場所はこれまで同様に1Fの整形外科外来で整形外科医と内科医（総合診療科医と腎臓内科医）がリウマチ外来として診療を行い、更に2Fの総合診療科外来で総合診療科医がリウマチ診療を行なっています。

代表疾患である関節リウマチについては整形外科と内科が診断と薬物治療にあたり、脊椎関節炎（乾癬性関節炎や強直性脊椎炎など）やびらん性変形性関節症などの疾患は主に整形外科医が、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、筋炎、強皮症や血管炎などの膠原病は主に内科医が担当します。膠原病関連の肺障害は疾患のマネージメントを行ううえで問題となりますが、当院の呼吸器内科医が積極的に関わっていただき、必要時に併診できる体制をとっています。

月2回程度開催しているリウマチカンファレンスでは、リウマチ診療医、呼吸器内科医、看護師や薬剤師が参加し、症例検討会や勉強会を通して、難治性病態に対してチームとして立ち向かっております。

診断や治療に難渋する症例については、是非ご紹介いただきますようお願い申し上げます。紹介先に迷われる場合は、まずは地域医療連携室にご連絡いただければと存じます。また関節エコー評価目的にご紹介いただくことも可能ですので、ご相談ください。

患者さん、さらには先生方のご期待に沿えるように、リウマチ外来スタッフ一同、全力をあげて診療にあたりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

【1F 整形外科外来】

		月	火	水	木	金
リウマチ外来	AM	田中(整)	赤井(地) 原(整)	鮫島(腎)	岡村(整) 川島(総) 尾崎(整)	松岡(総)
	PM	田中(整)	原(整)	鮫島(腎)	原(整) 川島(総) 尾崎(整)	松岡(総) ※新名(総)
関節エコー	AM				原(整)	
	PM	原(整)				

【2F 総合診療科外来】

		月	火	水	木	金
総合診療科外来	AM	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	PM	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

(整)整形外科、(総)総合診療科、(地)地域医療学講座、(腎)腎臓内科 ※毎月第2、4週

乳腺センター

乳腺センター 池田 直也

診療

2018年11月に奈良県立医科大学附属病院乳腺センターが開設されました。現在、池田、横谷に加え、2021年4月からは赤堀が新たなメンバーとなり、3人体制で診療にあたっています。

当センターは、乳癌の診断・治療を主に行うほか、遺伝性乳癌卵巣癌症候群（HBOC）などの遺伝性疾患の相談も行っています。対象疾患としては、乳癌の他、葉状腫瘍などの手術適応のボーダーライン腫瘍を対象としています。

乳癌の手術においては、積極的に鏡視下手術を取り入れています。視野確保が困難な腋窩レベルII郭清の際には近接拡大視された術野を大きなモニターで見ることができるため、スタッフ全員が情報共有できるほか、学生の指導にも役立っています。



また、当科の特色としてエネルギーデバイスを使用した手術の工夫を行なっています。この手技によってリンパ節郭清後のリンパ漏が減少し、大幅に在院日数が短縮しています。また、外来診療においては、最先端の内分泌療法や、抗HER2療法、免疫化学療法を他職種と連携し、積極的に行なっています。

患者さんの予後やQOL改善につながるような診療を目指し、大学病院としての務めを果たすべく、他職種と一致団結してチーム医療を行なっています。

また、当センターでは乳癌診療連携パスを最大限に活用しています。この連携により、ご紹介元の先生にはかかりつけ医となっただき、御投薬や普段の内科的な診療をお願いしています。乳癌が疑われるような患者さんがおられましたら、ご紹介いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

研究

現在、乳腺グループでは以下のような研究を進めています。

☆乳癌術前化学療法において腋窩リンパ節転移が陰性化するための効果予測因子の検討
(術前生検標本腫瘍浸潤リンパ球の評価から)

Yokotani T, et al. Surgery Today, volume 51, pages 595-604, 2021

☆トリプルネガティブ乳癌における新規免疫不活化経路阻害分子探索から治療への展望
(池田直也 基盤研究C：2018-2020)

☆独自の遺伝子パネル作成によるトリプルネガティブ乳癌の革新的免疫併用治療戦略の構築
(池田直也 基盤研究C：2021-2023)



慢性疼痛外来を開設しました



慢性疼痛とは、適切な治療後も3か月以上続く痛みで、有病率は20%を超えられています。原疾患の種類によらず、共通の特徴を持ち特別な治療法が必要なため、ICD-11でも新たに診断名として登録されました。具体的には慢性腰痛や線維筋痛症、舌痛症などが含まれています。

心理社会的な影響があり、不安や怒りなどの負の感情とADLや社会参加の低下を引き起こす症候群です。治療目標は「いたみ=0」ではなく、痛みの影響を和らげながら、ADLや社会へのかかわりを向上することです。

奈良医大ペインセンターでは、薬物治療とともにX線透視を用いた神経ブロックを駆使し帯状疱疹疼痛や椎間板ヘルニアの痛み治療を行ってきました。しかし慢性疼痛に対してはこれらの治療だけでは不十分で集学的治療が有効であると言われています。

集学的治療とは多職種が、種々の治療（患者教育、薬物治療、理学療法、認知行動療法など）を協力して行うものです。厚労省のモデル事業で集学的治療を行う「痛みセンター」が各地に開設されていますが、当院でも令和3年9月にペインセンター内に「慢性疼痛外来」を開設し、12月に「痛みセンター」として認定を受けました。

慢性疼痛の誘因の1つに、長引く痛みにより中枢神経系の機能障害をきたし痛みを持続させることが知られています（痛み変調性疼痛）。

運動療法は、痛み伝導の機能障害を改善し、フレイルや廃用症候群を防ぎ、ストレスを発散し、健康とADL向上に寄与するため、治療の根幹となります。

当院のプログラムは、外来で理学療法士による運動指導、心理士による心理面談を行っています。治療対象は、外来通院ができて目的をもって痛みをコントロールしたい患者さんになります。

水曜日が診療日ですが、初診は9時から14時ごろまで時間がかかるため、1日1人限定の予約となっています。地域医療連携室を通してご予約いただけますようお願いいたします。

▶ 地域医療連携室からのお知らせ

ご紹介の際は事前予約をお願いいたします

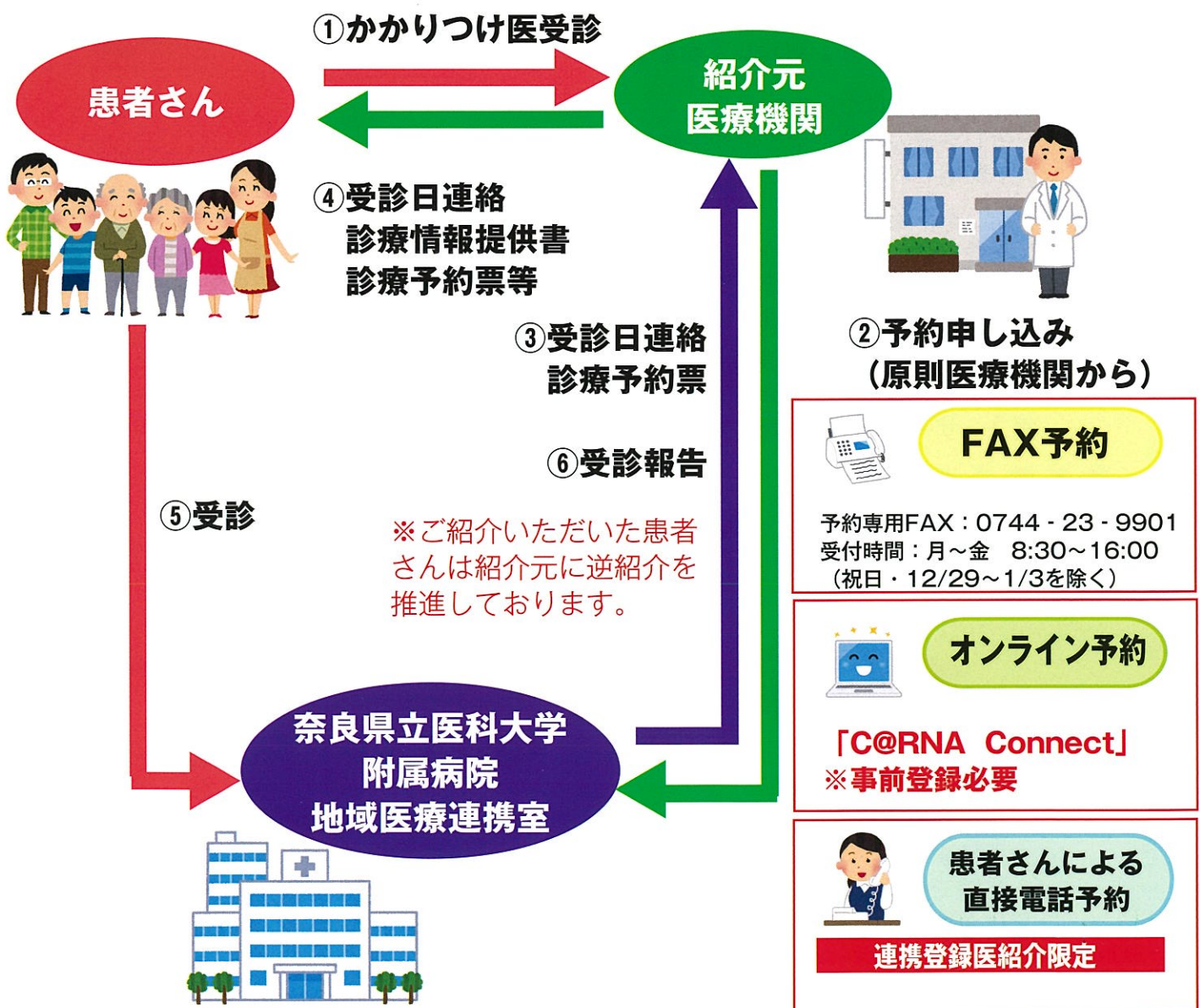
当院では、患者サービスの質向上のために初診患者さんの予約診療としております。紹介や事前の予約なしで受診される患者さんがおられますが、予約システムを活用することで、

- 目的に合った専門医の診察をうけることができる
- 診察に必要な事務手続きが簡略化できる
- 予約取得することで、待ち時間が短縮される

…などのメリットがあります。

大切な紹介患者さんの初診時の待ち時間短縮はもとより、受診患者全体の待ち時間緩和にもなります。

初診紹介患者さんの予約診療の流れ



▶ 予約申し込み方法

FAX

予約専用FAX：0744・23・9901
受付時間：月～金 8:30～16:00
(祝日・12/29～1/3を除く)



- ①当院の「診療情報提供書（兼）初診予約診療登録票」に必要事項を記入し、予約専用番号にFAXしてください。
- ②地域医療連携室より、予約日時を調整後「診察予約票」をFAXにて返信いたします。※概ね15分程度いただきます。
- ③患者さんに「診療情報提供書」「診察予約票」「検査・画像データ（必要に応じ）」を持参させてください。

オンライン

24時間365日予約可能です！



「C@RNA Connect」のユーザー登録はお済みですか？
オンライン登録してみませんか？

こんなお困りはないですか？

- ・夜間診療の時間帯だと予約手続きができない。
- ・予約票を取りに患者さんに改めて来院してもらわないといけない。

オンライン予約なら・・・

- ・患者さんとその場で予約日時が確認できます。
- ・患者情報・診療情報を入力することで診療情報提供書として活用できます。
- ・予約時の書類送信が省けます。

令和3年12月末現在、県内外を含め108施設の医療機関にご利用いただいております。コロナ禍でオンラインの需要が高まっているこの機会に、ぜひ新規ユーザー登録をご検討ください。

電話

患者さんからの直接電話で
都合のよい日時を予約できます



※連携登録医の先生方からの紹介患者さんに限ります

登録医の先生方には、あらかじめ専用の予約票と予約専用ダイヤルの電話番号を送付しております。

患者さんより直接、予約専用ダイヤルにお電話いただき、予約を取得していただけます。

当院でのカルテ作成や紹介状のスキャンなどの準備のため、登録医の先生方には予約日までに診療情報提供書をFAXで地域医療連携室に送信してください。

▶ 連携登録医制度について



連携登録医に登録しませんか？

日々の
健康管理



連携登録医

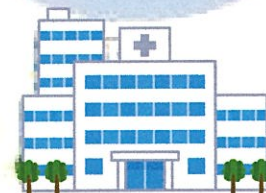
逆紹介

手術・入院
必要な時は

紹介

症状が
安定したら

高度医療
専門医療



奈良県立医科大学
附属病院

地域の医療機関と当院が相互に、患者さんのニーズに応えた一貫性のある医療を提供するため、より緊密な医療連携体制の整備を目的とし「連携登録医制度」を設けています。患者さんの紹介・逆紹介などで当院と協力体制をとっていただける地域の医師・歯科医師の先生方を「連携登録医」としています。



連携登録医のメリット

- ① 当院では患者さんの逆紹介を推進しており、連携登録医からの紹介患者さんは、原則として紹介元に逆紹介いたします。紹介のない患者さんについても、連携登録医や地域の医療機関に連携いたします。
- ② 学術講演等の医学集会の情報案内や年に4回のメールマガジンの発行などを行っております。
- ③ 紹介患者のカルテ閲覧、病室訪問ができます。
- ④ 連携登録医一覧の当院ホームページ掲載（同意された方のみ）を行っております。
- ⑤ 初診患者さんの事前予約について、連携登録医の紹介に限定し、患者さんからの電話による直接予約を受け付けております。（専用ダイヤルあり）
- ⑥ 「連携登録医のつどい」の開催
地域の医療機関の推進を目的とし、連携登録医と当院医師との意見交換の場として、年に1回程度開催しております。（令和2年度、令和3年度は感染予防対策のため中止）

この機会に、連携登録医への登録のご検討をお願いいたします。

連携登録医への
詳しい登録方法は・・・

奈良医大 連携登録医

検索

▶ セカンドオピニオン外来について

セカンドオピニオン外来が利用できます

奈良県立医科大学附属病院ではセカンドオピニオン外来を開設しています。
現在受診されている医療機関の診断内容や治療方法に関して、別の観点から参考となる情報や意見を提供するものです。

相談は、現在受診中の医療機関から、セカンドオピニオン外来紹介状（診療情報提供書）や診断画像CD-R、検査結果などの資料提供が受けられる方に限らせていただきます。

※セカンドオピニオン外来では、検査や治療行為は行いません。

※患者さんの疾患が当院のセカンドオピニオン対象疾患である場合に限ります。

〔問合せ先〕



◆セカンドオピニオン外来専用
月曜日～金曜日 午後2時～午後5時
0744-29-8880

セカンドオピニオン外来は、電話による
完全予約制となっております。

当日の相談は受け付けておりません。



1人（1事例）1回あたり26,400円
（全額自己負担で健康保険の適用はありません）

相談時間は、1人（1事例）1回あたり40分以内

対象疾患など詳しくは・・・

奈良医大 セカンドオピニオン外来

検索

▶ 患者さんのより良い医療のため返書管理を継続しています



奈良県立医科大学附属病院では迅速かつ丁寧な返書に取り組んでいます。地域の医療機関とのより良い連携を構築し、地域で患者さんを見守る体制づくりをすすめています。

2020年度より、新型コロナウイルス感染症による診療制限からご不便をおかけしておりますが、連携強化に向け今後も適切な返書管理につとめてまいります。

▶ 新型コロナウイルス感染防止対策に取り組んでいます

感染拡大防止のため、病院玄関にて検温や体調チェックを行っています。

①玄関



出入口を制限しています

②検温



サーモグラフィーでの検温と手指消毒をお願いしています

③受付



飛沫予防のアクリル板を設置しています

ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

入院患者さんへの訪問には、「**訪問許可書**」が必要です。



新型コロナウイルス感染症に伴うお知らせなどは、病院ホームページをご確認ください。

状況をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



【訪問基準】 ※令和3年1月30日から訪問基準を強化しています。

- 面会の禁止を徹底し、原則、病状説明、手術当日など当院からの要請や特定の理由についてのみ訪問を許可する。
- 入院患者さんへの訪問は、**訪問許可書を携帯した1名のみ**とし、**時間は5分まで**とする。
- 訪問時間は **午後3時から午後7時まで**とする。
- 当院から来院を要請した場合は、上限2名までとし、臨時許可書を発行する。
- 療養生活に必要な物を届ける場合であっても **週2回程度まで**とする。
- 1月30日から当面の期間実施する。

第17回 地域医療連携懇話会のご案内



■ 開催日時：令和4年3月10日（木）
14:00～15:30（受付 13:30～）

■ 開催方法：WEB同時配信（Zoomウェビナー）
定員 100名
会場 奈良県立医科大学 蔵櫃会館
3階 大ホール 定員 50名

■ 講演Ⅰ 「新型コロナウイルス感染症対策を振り返る
— 奈良県医師会2年間の軌跡 —」
奈良県医師会会長 安東 範明 先生

■ 講演Ⅱ 「地域医療構想などの医療施策の現状と
コロナ禍を受けて今後の動向」
奈良県立医科大学 公衆衛生学講座教授 今村 知明 先生

※要申込 詳細はリーフレットまたは病院ホームページをご確認ください。
多数のご参加をお待ちしております。

編集・発行 奈良県立医科大学附属病院 地域医療連携室 〒634-8522 奈良県橿原市四条町840

TEL 0744-22-3051（代）／0744-29-8022（直通） FAX 0744-23-9923

URL <https://www.named-u.ac.jp/~chiiki/>

発行／2022年1月

奈良医大 地域医療連携室 検索